

**第 40 回日本川崎病学会・学術集会
オンライン参加の手引き
(全参加者)**

2020年10月30日(金)~10月31日(土)

第 40 回日本川崎病学会のオンライン参加の手引き(全参加者)

1 ご参加にあたって (資料 1)

1) アクセス環境

Zoom の使用にあたり、Windows、Mac、スマートフォン、タブレット等のサポート可能な機器 (OS の version) をご確認ください。予めの Zoom のダウンロード、既にダウンロード済みの Zoom の場合は、最新版への更新をお願いします。視聴者の端末の低性能、高負荷のアプリ、外部モニター使用は、視聴する画質の低下、音の途切れに繋がります。Wi-fi 環境は不安定な場合があること、内蔵スピーカーが聞き取りにくい場合もあり、安定した有線 LAN、イヤホンないしヘッドセットの使用により快適な視聴が得られます。同室での接近した複数端末の視聴 (オーディオオンの場合) は、ハウリングの原因になるのでご注意ください。

2) ご参加の規約

(1) ログイン ID、パスワード(PW)を他人に知らせたり、共有することの無い様に、登録者の責任で管理して下さい。流出のリスクなどに関して、登録者の ID、PW で複数のアクセスがされたケース等は、セキュリティー管理をしています。

(2) 発表のライブ配信動画、オンデマンドの音声動画、ポスターPDF は、ダウンロードできない対策を取っています。しかし、画面キャプチャー、写真撮影、何らかのダウンロード、SNS へのアップロードなど、コピー、録画、録音、転用は、著作権、肖像権の侵害になり、禁止されています。日本川崎病学会、第 40 回日本川崎病学会学術集会は、上記に関連するトラブルに対して一切の責任を負わない事をご留意下さい。

(3) 学会の Zoom の内容は、基本的に非公開を前提にレコードされます。予めご承認頂いたオンデマンド配信、セキュリティー管理上の使用、学術内容以外の会員交流の一環として、用いられる事がある事をご了承下さい。

3) 視聴者の Zoom 学会へのご参加 (資料 1)

Zoom Webinar による開催であり、カメラによるご自身の映像、音声は配信されません。双方向性議論の為に、Q&A での入力による質問をお願いします。討論者、座長が、質問者のお名前、ご所属を尊重した形で、代わって口頭で質問します。活発な議

論の為に、質疑時間の早々の質問入力のご準備をお願いします。セッションにより Zoom の投票機能も用いますのでご参加下さい。学会期間後のオンデマンド配信については、教育的なセッションに関して、承認を得られた場合に実施予定です（学会までにお知らせします）。

2 発表者、討論者、座長へのお願い（資料2）

1) アクセス環境

(1) 端末の準備：Zoom のサポートされているバージョンの Windows, Mac などの PC の使用を推奨します。端末の性能が低い場合、動画のカクツキ、音声の途切れ、操作の遅延が生じます。予めの Zoom のダウンロードが必要で、ダウンロード済みの場合も、Zoom の version を最新版にしてください。

(2) ネットワークの準備：有線 LAN を推奨します。高速 Wi-fi は可能ですが、通信が不安定な場合がある事をご了承下さい。ネットワーク不良は、動画のカクツキ、音声の途切れ、操作の遅延が生じます。

(3) 附属設備の準備：ヘッドセットを推奨します。ノイズキャンセル機能、ハウリング防止など PC 内蔵マイクより音声が良好です。PC 内蔵マイクは、音声の途切れが問題なることがあります。マイク付きイヤホンは、PC 内蔵マイクより、音声トラブルが少ないかも知れません。演者、討論者、座長は、PC 内蔵カメラか外付けカメラにより、発表、質疑の際にご自身の映像をお願いします。

(4) 静かな環境整備：環境音（院内放送、固定電話、救急車等）に留意して下さい。同室での接近した複数 PC での視聴（オーディオオンの場合）は、ハウリングの原因になるので、ご留意下さい。

(5) 事前のテストと pitfall :

- ・画面共有する ppt ファイルは予め立ち上げておいて下さい。
- ・音声の送受信を Zoom テスト (<https://zoom.us/test>) でご確認下さい。
- ・安定した配信には、インターネット速度テスト (<https://fast.com/ja/>) で、10-20Mbps 以上の数値で維持ことが最低限必要です。
- ・CPU に負荷がかかるとカクツキ、音声劣化の原因になります。「外部モニタ」「発表者ツール」「音声使用」「バーチャル背景」は、指定の場以外は控え、Zoom 以外の高負

荷アプリの終了、発表前の PC の再起動などお願いします。

- ・高画素の動画は、カクツキの原因になり、事前に調整して下さい。
- ・アニメーションは、遅延などで画質の劣化に繋がり、御留意下さい。
- ・ポインターは、端末配信環境と使い方により、遅延に留意下さい。
- ・最終の動作確認の為に、施設内での Zoom（無料の Meeting あり）での予演会の開催を推奨します。

2) ご発表の連絡とルール

(1) リハーサルの 3 日前頃に運営事務局から発表会場の発表者/討論者/座長用 Webinar Zoom URL が送られます。同じセッションでも視聴用 URL と異なるのでご注意ください。セッションの 40 分前に入室下さい。技術スタッフの最終調整があります。

(2) セッション中の画像、音声

セッション中は、座長はカメラオンをお願いします。演者、討論者発言中は、カメラオンをお願いします。それ以外は、3 者共に発言時以外はミュートをお願いします。発表、発言時は、画像、音声の確認をテキストをお願いします。

(3) 時間厳守をお願いします。発表終了 1 分前に 1 回、終了時 2 回、事務局がベルを鳴らし、お知らせします。

(4) 発表に関しては、個人情報保護を遵守して下さい。

(5) 個人情報保護に加えて、オンライン発表はスライド内容の著作権、肖像権が問題になります。無断使用にならないように、使用許可、出典の明示などにご留意下さい。日本川崎病学会、第 40 回日本川崎病学会学術集会は、上記に関連するトラブルに対して一切の責任を負わない事をご留意下さい。

3 セッション等の進行について

1) 口演演題（一般演題、要望演題、シンポジウム、招請講演等）

Zoom Webinar でのセッションです。セッションの進行は、座長の裁量でお願いします。

す。質疑応答は、Zoom webinar の Q&A 機能を用いて聴衆から質問を受け、討論者ないし座長が代わりに口頭で演者に質問します。入力のために質問提示まで1分程度ラグがあることが多く、質問提示後は、多数の為に取りまとめが問題になります。Web 学会の討論者の役割は、質疑開始時等に座長の采配の下、ご自身の質問を頂く事、視聴者の質問を受けて、視聴者のお名前を尊重しながら、適宜まとめて代わりに口頭で質問頂くことです。仮に演者の画像共有にトラブルがある場合は、予めご提出の音声動画 (MP4) (資料3) を事務局が放映し、質疑のみライブでお願いします。発表は日本語ですが、スライドは英語でお願いします。

2) ポスター演題

ポスターセッションの流れとしては、PDF と音声動画(MP4) (資料3) により、オンデマンド掲示を学会の3日前 (10月27日 (火) 12:00) から学会期間中に行い、質問は専用 BBS にてセッション前まで受け付けます。セッション中は、従来の紙冊子のプログラムと PDF を視聴者が参照頂きながら、Zoom webinar で、2分間のフラッシュトーク (ライブの概要説明) を行なって頂き、予め収集されたいしセッション中の Q&A に入力の質問に対して4分間の質疑応答をお願いします。発表中は、視聴者がどの演題で何が発表されているか一眼で分かる1枚スライド (予め提出) を事務局が画像共有します。セッション進行は、口演と同様で、司会の下で、討論者自身のご質問に加えて、視聴者からの質問を受けて、ライブの議論を行います。発表、スライドも日本語でお願いします。

3) オンライン情報交換会 (Online Banquet)

全員の画像音声参加型のオンライン情報交換会を Zoom meeting を用いて行います。招待者も含むご挨拶 (発言者以外はミュート) に引き続いて、Zoom のブレイクアウトルームの機能を用いて、小グループに別れて情報交換をお願いします。このグループは、途中で Zoom の機能によりメンバー変更 (シャッフル) します。半年以上後の再開の機会であり、バーチャルながらも密な交流を深めて下さい。全体と小グループで、ギャラリービューでの写真撮影も予定しています。ご自身の映像の提示をお願いします。Zoom を用いたオンライン二次会情報は、Slack の会員交流サイトで行います。

4 事務連絡、フロア議論について (チャットツール Slack の使用) (資料4)

Web学会での緊急時の情報共有、セッション進行情報など現地開催学会のサイドスライドの役割が必要です（開催事務局の電話、メールに加えて）。今回のセッション毎の視聴者用 Zoom Webinar で、チャット機能は使用しません。学会のセッションで質疑が不消化な場合に、フロアの議論で補われます。その様な事務連絡とフロア議論のweb学会での再現の為に、最近はビジネスに加え学会でも使用される登録者限定チャットツール Slack を用います。Web学会であり、海外の参加者との議論の為に、和英の同時通訳アプリを利用しています。学会参加登録者には、学会前に招待メールが届きますので、ご登録をお願いします。この Slack は、学会後のオンデマンド配信の終了時に終了します。

1) ルール

本学術集会の倫理規程に準じ、個人情報保護、著作権、肖像権の保護は厳守頂きます。当然、学会での他人の画面写真の許可のない掲載、会員サイト限定の論文 pdf などの掲載は禁止です。Slack 画面ないしその写真の SNS への転送は禁止です。議論の継続、学会情報、会員交流情報の共有サイトであり、誹謗中傷を控えた紳士的な交流をお願いします。事務局判断で、投稿内容が削除される場合はあることをご了承下さい。日本川崎病学会、第 40 回日本川崎病学会学術集会は、上記に関連するトラブルに対して一切の責任を負わない事をご留意下さい。

2) 登録方法（公開サイトご参照：<https://hashikake.jp/articles/how-to-slack-01>）

- ・学会事務局から招待メールが学会前に届きます。
- ・メール本文の「いますぐクリック」をクリックし、名前とパスワードを入力。「アカウントを作成する」をクリック。「プロフィールとアカウント」で、閲覧、質疑に際して、現地開催の名札と同様に、氏名、ご所属（例：三重太郎 三重大学小児科）を明示頂きます。
- ・ブラウザでなく、デスクトップアプリをダウンロード頂くと操作が簡便です。

3) 第 40 回日本川崎病学会のワークスペースでの使用

チャンネルと呼ばれるテーマ毎のグループチャットがあり、「参加者の事務連絡」「参加者交流」に引き続き、学会プログラムのセッション毎のチャンネルがあります。これらは、全ての参加者に共有されるチャットサイトです。ダイレクトメッセージは、直接に演者ないし知り合いと連絡を取れる私的なチャットです。各セッションでは、事務

局で演題名、演者が掲載され、適宜、セッション毎にご議論下さい。スレッドを使うと双方向性議論に便利です。「いいね」などリアクションも適宜使用ください。海外の先生に和英同時通訳アプリ搭載 Kiara で議論に参加頂きます。AI 翻訳は発達段階であり、英訳しやすい日本語で議論をお願いします。

- ・「参加者の事務連絡」：緊急情報、セッションの進行状況他です。
参加者からのセッション進行などのトラブルもお伝えください。
- ・「参加者交流」：参加者の casual なご挨拶、懇親会の二次会の URL 提示による募集など。
- ・「ダイレクトメッセージ」：演者、個人への連絡、「開催事務局」への連絡などお願いします。

4) セキュリティ・個人情報保護

登録者限定のセキュリティ対策・個人情報保護の為に、Slack の参加者が第 3 者の参加を招待する機能、メンバーのメールアドレス開示機能、他のアプリの追加機能は、停止しています。

5 参加証の発行、専門医単位等

1) 参加証・領収証の発行

会期終了後、アクセスログにてご視聴が確認できた方へ、ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加証明書をお送りいたします。領収書は参加費をお支払いいただいた方全員にお送りいたします。

※参加証明書の発行は会期終了後となります。予めご了承ください。

2) 学術集会で取得できる単位について

日本小児循環器学会の認定講習会として、学会単位 3 単位の取得が可能です。

(参加記録が確認できた場合)

6 問い合わせ先（開催事務局）

第40回日本川崎病学会・学術集会運営担当

〒135-0063 東京都江東区有明三丁目6番地11 TFTビル東館9階

株式会社 プロコムインターナショナル内

電話番号：03-5520-8821 FAX：03-5520-8820 電子メール：jspd40@procomu.jp